

なぎさ

川内原子力発電所

NAGISA

2024年

1月号

No.233



「鬼火焚き」(薩摩川内市東郷町山田) 撮影: 上畝地憲治(ピン写連)

子供たちの
「白い息」

「白い息」

見た

白い息を

急に寒くなつた

白い息で何か作りた

白い息を見た

おでんの中のだいこんみたい

きようはすこしあたたかい

白い息が見えない

さびしいな

見た

白い息を

この白い息は

どこにいくのかな

いちき串木野市立
串木野小学校四年
古川 京くん



～高校生たちの焼酎造り体験～

将来の“だいやめ”を楽しみに

鹿児島を代表する酒「芋焼酎」。

その一本が生まれるまでの工程を、若い高校生たちが実体験しました。

自分たちで手がけた焼酎で、いつか乾杯する日が楽しみです。

飲めなくても知ってほしい
故郷で生まれた焼酎の魅力

マグロやつげ揚げ、サワーポメロなどと並んで、「食のまち」いちき串木野市の特産である「芋焼酎」。市内にも8つの蔵元があります。

ただ、本格焼酎が飲める20歳前に、進学や就職で市外に出ていく若い世代も少なくありません。そんな彼らに、地域に根差した伝統産業の魅力を知ってほしいと、いちき串木野市で今年度からスタートしたのが「未来に乾杯！十代からの本格焼酎体験」プロジェクトです。全国でも珍しい「本格焼酎による乾杯を推進する条例」が制定10周年を迎えた記念でもありました。

「もし市外に出たとしても、『故郷にはこんな食文化や産業がある』と多くの人に伝えてほしい」という願いもこめられています。

全7回、実体験を通して学ぶ
焼酎造りへの想いや苦勞

昨年春から市内の若者たちに向けて公募したところ、市内の高校生15人が申し

込みました。男性5人、女性10人で、卒業後に焼酎蔵への就職が決まっている人もいます。

プロジェクトは2023年7月から翌年1月までの全7回。前半は「いちき串木野市と本格焼酎」と題して焼酎造りの歴史や工程を学び、夏には地元の方の芋畑



(右上)炎天下で芋畑の草取り作業。汗だくの一日でメンバーの結束も固まった。

(右下)市内の老舗蔵元を見学。焼酎造りの苦勞や楽しみを伺う。

(左上)努力が実って、丸々太った芋を掘り出す。中腰がキツイ。

(左下)掘った後にはさらにヒゲ根やツルを切り取る手間も必要。

で草取りやツル返しなどの芋の栽培体験に汗を流しました。

また、完成したときのネーミングやラベルデザインも自分たちで知恵を出し合い、市内5か所の蔵元で実際の醸造工程を見学しました。

体験したからこそ愛着も湧き
いつか家族で乾杯を

そしていよいよ12月初めの芋掘りの日。寒気で手がかじかむ中、土中から芋を掘り出します。大小みつちりと実った芋は量も多く、収穫後も一本一本ツルや根を切る手間があつて、腰やひざが悲鳴を上げます。「芋の栽培から店に並ぶまでにこんな苦勞があるんだね」と、メンバーたちからも口々に感想がこぼれました。

「祖父や父が焼酎を飲んでる風景がいつも身近にある」「自分で造った焼酎を、家族に飲んでほしい」と、充実した体験のようでした。

この芋を蔵元に運び、醸造は任せますが、1月には瓶詰め工程を体験し、メンバーの総意で決めた銘柄をつけ、5合瓶を2本ずつ受け取る予定です。

これからは、酒店に並ぶ焼酎を見るたびに、あの芋の山や泥だらけの作業を思い出して、何百年も造り続けてきた鹿児島の人たちの歴史を思い浮かべることでしょう。2年後、3年後に、家族や友人と乾杯をする日が楽しみです。

このプロジェクトは、来年度も引き続き継続する予定だそうです。

【問い合わせ】

いちき串木野市役所シティセールス課

☎0996-3315640(早川)



パーティーなどと呼ばれる演奏は、幅広いレパートリーでいつも盛況。

スイングすれば
心はいつまでも若々しく



愛用のサクソフスを手に、新原進さん(左)と昔からのメンバー 富永重巴さん(右)

サークル紹介

「クインロール・オーケストラ」

●薩摩川内市

薩摩川内市矢倉町の一角にある建物のドアを開けると、一気にリズムとメロディーに包まれました。曲は懐かしいジャズの名作「A列車で行こう」。体も気分も沸き立つように弾けます。

演奏するのは、鹿児島県内でも数少なくなつたアマチュアバンド「クインロール・オーケストラ」の皆さん。リーダーの新原進さんが、愛用のサクソフスを手にメンバーを盛り上げます。

50年以上前、東京で有名バンドとも共演していた新原さんが、故郷の薩摩川内に戻つて喫茶店を開いたとき、地域の音楽好きが徐々に集まつてバンドが結成されました。今では男女合わせて13人、平均年齢は60歳台といいますが、息もぴつたりとダイナミックなスイングが生まれます。

レパートリーは驚きの二千曲！すべて新原さん手書きの楽譜がストックされています。毎週集まつてはこうして練習も怠りなく、市内外のイベントやパーティー、結婚式の演奏などに引つ張りだとか。

「みんな音楽が大好きだから、演奏中は年齢も忘れましょ」と新原さん。今年もすでにあちこちから演奏依頼があるそうです。

クインロール・オーケストラ

【場所】

鹿児島県薩摩川内市矢倉町4285-1
喫茶店「アイドル」

☎0996-2512340



船出を思わせる「島立ちの春」歌碑。これを見て今年も中学生が旅立つていく。

「波のしぶきで このツラ洗う
黒潮ハガネの 腕つぶし
東シナ海 西から東

天気の良い日には本土から島影が見える甑島。島には高校はないため、中学卒業後の子どもたちはほとんどが本土の高校に進み、寮や下宿生活となります。そんな旅立ちの子らを送る一曲の歌が、2012年に生まれました。かぐや姫の代表曲『神田川』などで知られる喜多條忠さんが作詞、叶弦大さんが作曲した『島立ちの春』です。

生まれ育った島を離れる旅立ち(薩摩川内市甑島)

すよこつと
行たつみろうがい

夢と魚を 追つてゆく
海の男のヨオー ふるさと甑島

俺も十五で 島立ちしたが
伴もこの春 島を立つ

海は広いが 世間も広い
デカイ男に なつて来い

笑顔かわいいヨオー 嫁でもつれて来い
(以下略)

この歌の歌碑が、里港に立っています。今年島内の中学校を卒業する生徒19名が、春には将来への夢を抱いて元気に乗船していくでしょう。

海の幸豊かな甑島では、春にアオリイカもシーズンを迎えます。甘みの強いイカは、島内の旅館などで味わえます。

また、甑島全域で3月頃まで満開を迎えるヤブツバキ。下甑島青瀬地区で作られる、椿オイルやバスエッセンスは観光客に人気です。春の訪れを甑島で体感してみませんか。

【問い合わせ】 上甑島観光案内所

☎0996-2418065

川内原子力発電所からのお知らせ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
皆さま方には、お健やかに新春を
お迎えのこととお喜び申し上げます。

川内原子力発電所は、一、二号機ともに
安全・安定運転を継続しています。

本年、二号機は六月中旬、一号機は九月中旬から
それぞれ定期検査を実施する予定です。

また、一号機は本年七月、

二号機は来年十一月に運転開始から四十年を迎えます。
一、二号機においては、運転開始後六十年時点においても
設備の健全性を維持できることを確認したこと、

一昨年十月に国に対して二十年間の運転期間の
延長申請を行い、国の審査を受けて
昨年十一月一日に認可を受領しました。

また、昨年十二月には、鹿児島県知事から了承、
薩摩川内市長から容認する旨のコメントを頂きました。

これもひとえに皆さまのご理解と

ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今後とも地域の皆さまに安心していただけるよう、
所員一同、原子力安全の取り組みに

終わりはないことをしっかりと認識し、
発電所の安全・安定運転とともに、積極的な情報公開と
分かりやすい説明に努めてまいります。

本年も昨年同様のご支援を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。

令和六年一月

執行役員 川内原子力発電所長 大久保 康志



川内原子力発電所の更なる 安全性・信頼性向上への取り組み

川内原子力発電所においては、現在、発電所と送電線を接続したり切り離したりする大きなスイッチにあたる「特高開閉所の高台移設工事」を実施しており、受電する回線数を従来の3回線から6回線へ増強しました。

また、低レベル放射性廃棄物のうち工事に伴い発生する金属類などの雑固体廃棄物を圧縮・固化し、検査後に計画的に指定の施設に搬出するための廃棄物搬出設備を設置する工事を行っています。

さらに、今般の運転期間延長に係る申請に関して、鹿児島県から、「専門委員会^{*1}」や「分科会^{*2}」での技術的・専門的な観点からの検証結果などを踏まえた「要請書」を昨年7月に受領し、薩摩川内市からも原子力発電所の安全性の向上や市民の皆さまへの情報公開の徹底などについての要望を昨年12月に頂いております。これらのご要望等を踏まえ、当社は、今後とも原子力発電所の安全性の向上や安全管理の徹底に不断に取り組むとともに、経年劣化に関する新しい知見の取入れ、設備健全性確保のための点検・検査、教育・訓練などに着実かつ継続的に取り組んで参ります。

*1 鹿児島県原子力安全・避難計画等防災専門委員会

*2 川内原子力発電所の運転期間延長の検証に関する分科会

川内原子力発電所 見学のご案内

川内原子力総合事務所では、川内原子力発電所の安全・安定運転の取り組みについて、地域の皆さまにご覧いただけるよう、発電所見学を実施しております。★1団体10名様以上を目安にお申込みください。

九州電力株式会社 川内原子力総合事務所

TEL 0996-20-4072 (受付時間)月～金曜日 9:00～17:00(祝祭日は除く)

携帯メールサービス

大規模地震発生時の原子力発電所の運転状況等の緊急情報や、当社からののお知らせなどをメールでお届けします。なお、スマートフォンや携帯電話に加え、パソコンへの配信も可能です。



1.緊急情報

九州内で震度4以上の地震が発生した時に、原子力発電所の運転状況などをお知らせします。



2.お知らせ(メールマガジン)

当社からののお知らせをお届けします。(不定期)

登録はこちらから

パソコンから/

http://www.kyuden.co.jp/em_mail.html

※本サービス利用にあたり、登録料・情報料は発生しませんが、別途、携帯電話会社等への通信料が必要です。

スマートフォンから/



九電グループFacebookページ

公式Facebookでは、驚きと共感をテーマに、知られざる社員の姿や暮らしに役立つ電気の豆知識、省エネ情報などをお届けしていますので、ぜひご覧ください。

